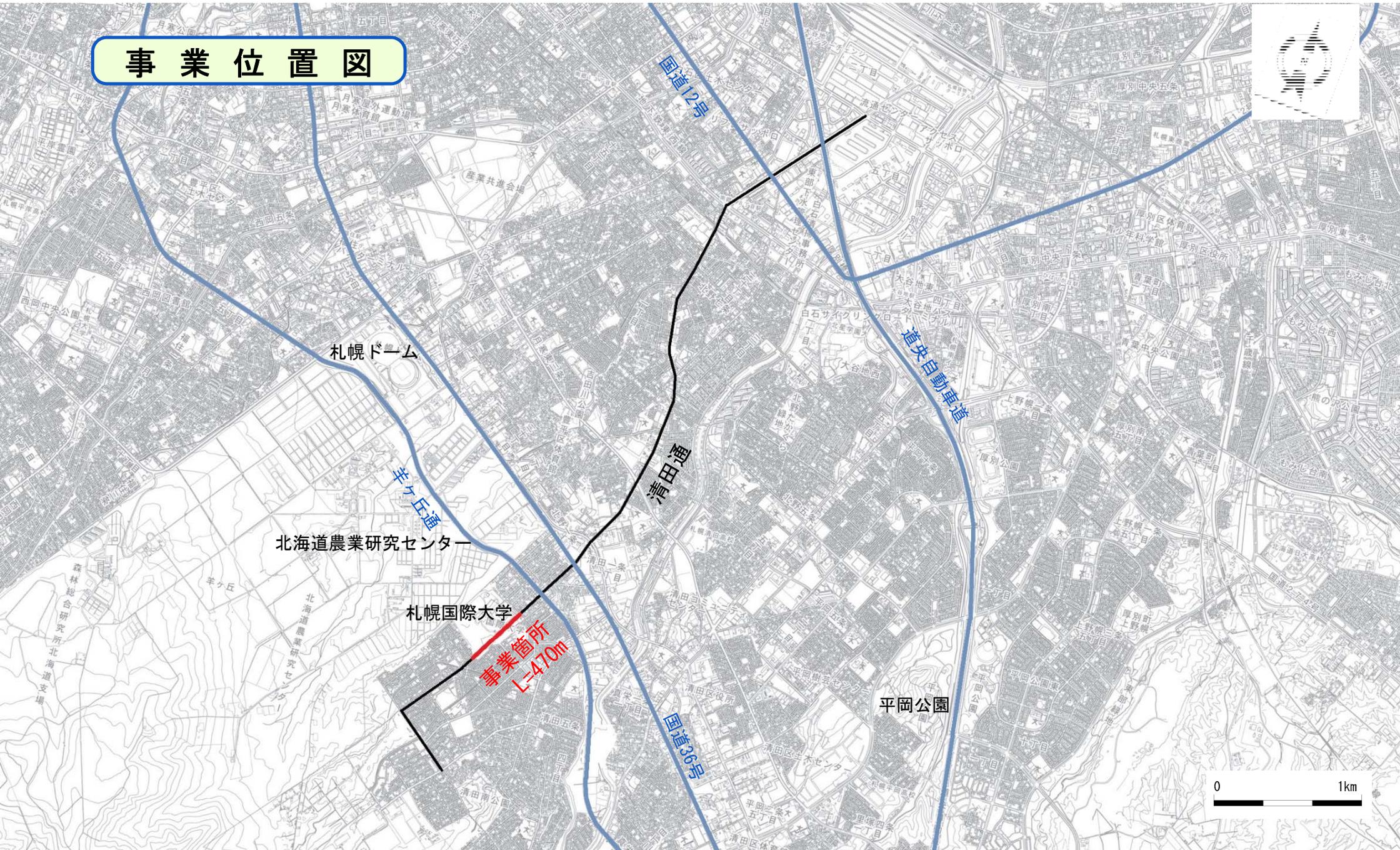


事業概要

応募No.	1		
事業主体	札幌市建設局土木部	実施都市名	札幌市
応募者名	札幌市建設局土木部		
ふりがな 事業名称	さっぽろけんとしけいかくどうろじぎょう きよたどおり 札幌圏都市計画道路事業3・4・80号清田通		
事業概要 (400字以内)	<p>清田通は白石区大谷地地区の平和通から清田中央地区の清田中央通までの区間を結ぶ主要な幹線道路であり、延長5,850mが都市計画決定されている。</p> <p>このうち未整備だった区間約470mについて、地域道路網の強化により円滑で安全な交通環境を確保することや、災害時の避難場所と緊急輸送道路の連携により防災性を向上させることを目的として、平成24年度に都市計画道路事業の認可を取得した。</p> <p>また、街路事業と並行して土地区画整理事業を活用することで、住区計画道路[※]の整備や宅地の創出を行った。</p> <p>※札幌市住区整備基本計画に基づく道路</p>		
事業規模	事業延長	470m	
	幅員	20.0m	
	事業期間	平成24年度～令和元年度	
	事業費	約26億円	



事業位置図





都市計画図(用途地域図)

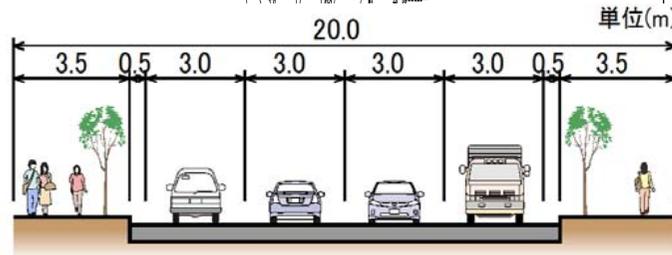
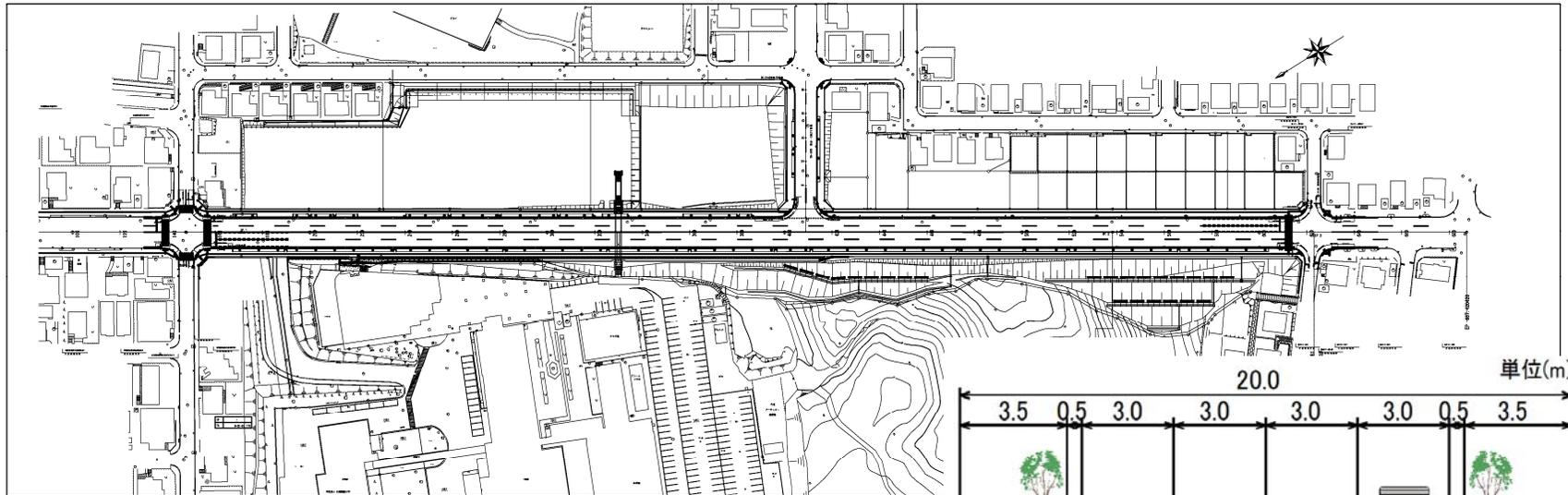
- 第二種住居
- 準工業
- 工業
- 第一種低層住居専用
- 第二種低層住居専用
- 第一種中高層住居
- 第二種中高層住居
- 第一種住居
- 準住居
- 近隣商業
- 商業

事業箇所
L=470m

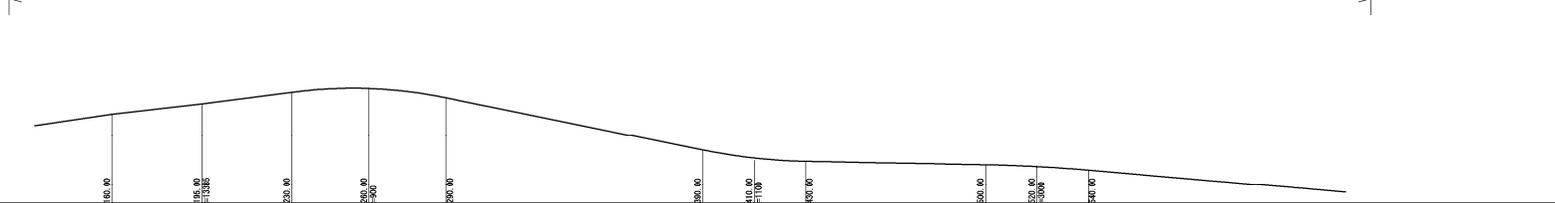


平面図・縦断図・横断図

※事業前は現道なし



SP=120.00 清田通工事起点 (区画線、附帯交差点詳細、F型構造物<) 延長 L=530.00m SP=650.00 清田通工事終点 (区画線、附帯交差点詳細、F型構造物<)



測点	地盤高	勾配	施工基面高	切深	盛高	補正区分	仮施工基面高	補正値
120.00	55.67							
130.00	55.93		55.93				55.93	
140.00	56.17		56.24				56.24	
160.00	56.81	0.00%	56.805	0.00			56.805	0.000
180.00	57.09	0.15%	57.242	0.15			57.227	0.015
190.22	57.33	0.034%	57.477	0.034		VOL=70.00	57.443	0.034
196.00	57.590	0.046%	57.590	0.046		VOL=70.00	57.544	0.046
200.00	57.56	0.034%	57.710	0.15		VOL=70.00	57.516	0.034
220.00	58.206	0.15%	58.206	0.15			58.202	0.004
230.00	58.466	0.000%	58.466	0.000			58.466	0.000
240.00	58.52	0.15%	58.674	0.15			58.729	-0.055
260.00	58.81	0.15%	58.768	0.15		VOL=60.00	58.258	-0.468
280.00	58.25	0.15%	58.401	0.15			58.466	-0.065
290.00	58.606	0.15%	58.606	0.15			58.606	0.000
300.00	57.51	0.15%	57.656	0.15			58.096	0.000
320.00	56.71	0.15%	56.866	0.15				
340.00	56.06	0.15%	56.656	0.15				
360.00	55.256	0.15%	55.256	0.15				
380.00	54.46	0.15%	54.466	0.15			54.058	0.000
390.00	53.81	0.046%	54.056	0.046			53.688	0.046
400.00	53.55	0.151%	53.701	0.151		VOL=40.00	53.526	0.151
410.00	53.29	0.046%	53.456	0.046		VOL=40.00	53.29	0.046
420.00	53.11	0.046%	53.264	0.046			53.29	0.046
430.00	53.00	0.100%	53.162	0.100			53.112	0.000
440.00	53.00	0.15%	53.145	0.15				
460.00	52.92	0.15%	53.071	0.15				
480.00	52.86	0.15%	52.996	0.15				
500.00	52.77	0.15%	52.824	0.15			52.824	0.000
520.00	52.63	0.067%	52.783	0.067		VOL=40.00	52.850	-0.067
540.00	52.36	0.15%	52.510	0.15		VOL=40.00	52.510	0.000
560.00	52.02	0.15%	52.170	0.15				
580.00	51.66	0.15%	51.830	0.15				
600.00	51.34	0.15%	51.490	0.15				
610.03	51.15	0.15%	51.153	0.15				
620.00	50.31	0.15%	50.31	0.15				
640.00	50.22	0.15%	50.22	0.15				
660.00	50.47	0.15%	50.47	0.15				
670.00	50.31	0.15%	50.31	0.15				
680.00	50.22	0.15%	50.22	0.15				
690.00	50.13	0.15%	50.13	0.15				

路線全体の進捗状況



事業前写真



事業後写真

(3・4・80号清田通)







事業効果アピール資料①

○地域交通の円滑化及び安全性の向上

◇通学路の安全確保
 交通量の変化（生活道路）
 平成25年 4,308台/12hr
 令和2年 1,730台/12hr

生活道路の交通量の変化（12時間）

整備前 4,308台
整備後 1,730台

約6割減

通学路を含む生活道路の交通量を約6割転換することができ、地域の安全性が向上した。

交通量の変化（清田通）
 現道なし _____
 令和2年 4,475台/12hr

地区内交通量
約6割減

小学校

◇清田中央通の混雑回避
 交通量の変化

清田通（羊ヶ丘通との交差点）
 平成29年 5,135台/12hr
 令和2年 6,146台/12hr
1,011台増加

清田中央通（羊ヶ丘通との交差点）
 平成27年 7,157台/12hr
 令和2年 7,525台/12hr
368台増加

周辺開発に伴う交通量の増加台数（12時間）

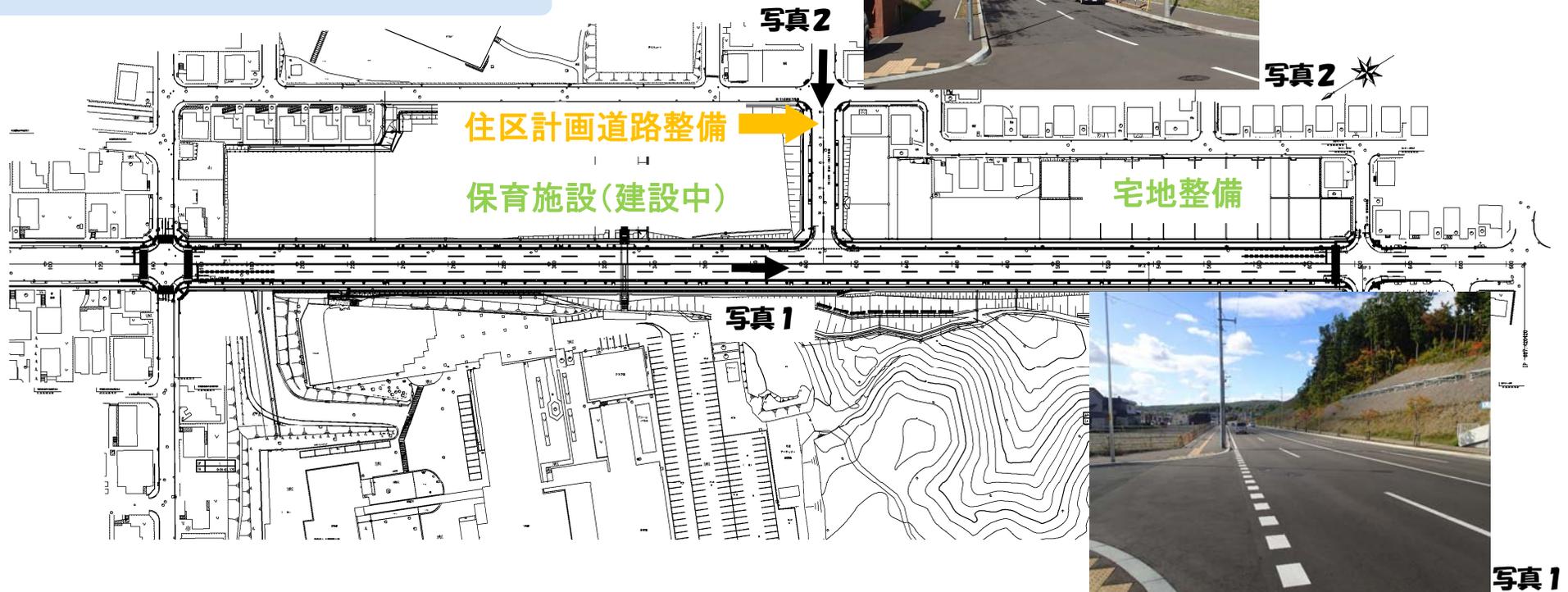
1,011台 (74%)
368台 (26%)

清田通 清田中央通

周辺開発に伴う交通量増加の多くを清田通が負担することで、清田中央通の混雑を回避した。

事業効果アピール資料②

○住区計画道路・保育施設・宅地の整備



整備前は山地であった土地を、清田通の整備に併せて平地化し新たな土地活用をしたことで、防災性が向上したことに加えて周辺の視認性が高まり交差点部の安全性が向上した。また、保育施設の建設や宅地の整備により地域の活性化に貢献した。

苦労や工夫等アピール資料①

○清田通隣接地の平面化検討



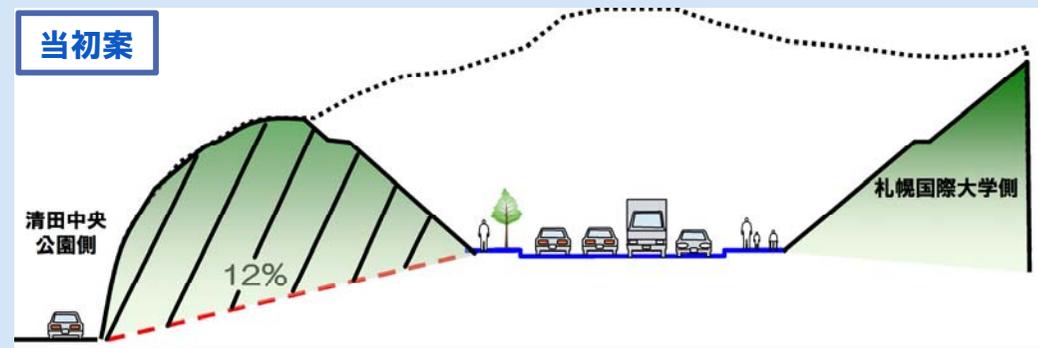
※国土地理院空中写真（平成20年）を加工

当初両側法面で道路整備を行う予定であったが、地域ニーズを踏まえつつ最適な整備手法を検討し、以下の整備内容とした。

- ①片側の法面を平面化すること
- ②防犯・防災上の点から住宅地と道路を接続すること

◇平面化のメリット

- ・法面整備や維持管理のコスト縮減
- ・清田通沿線部に指定されている急傾斜地崩壊危険箇所を縮小
- ・平面化に伴い新たに土地利用が可能



②縦断勾配を見直し、道路を接続

苦労や工夫等アピール資料②

○平面化に伴う区画整理事業

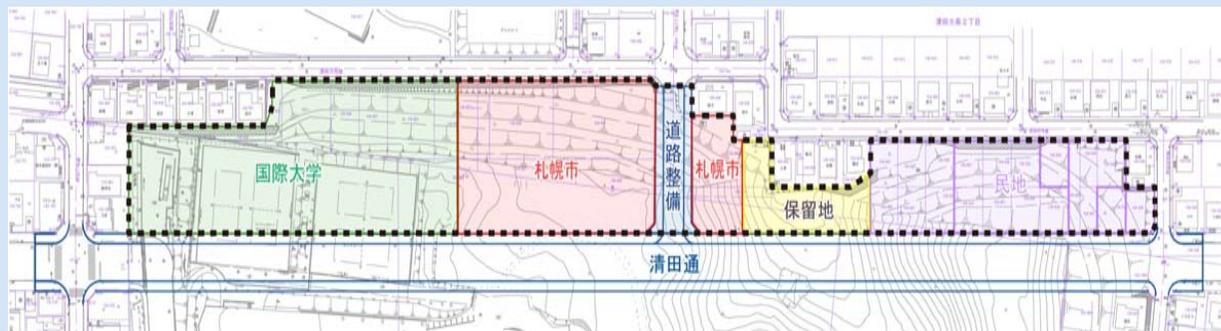
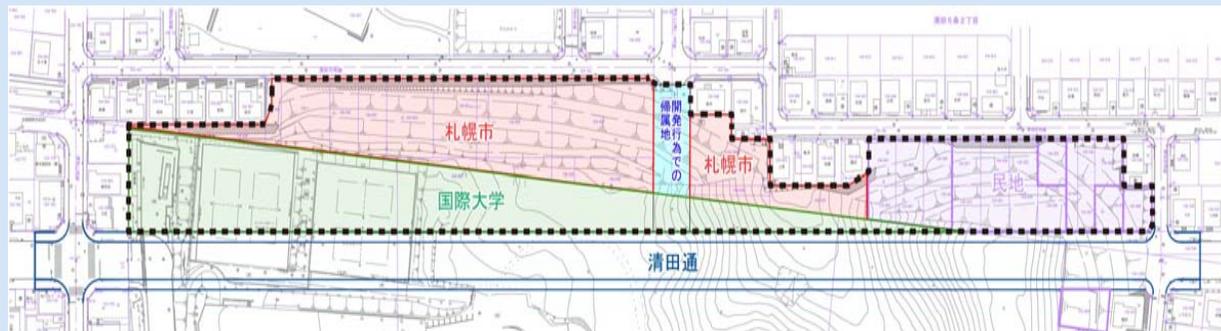
○平面化に伴い発生する課題

- ・不整形な市有地の土地活用
- ・地元からの宅地化要望
- ・住区計画道路の整備資金源

これらを解決するために、札幌市が1地権者として施行する土地区画整理事業を行った。

⇒結果として

- ・不整形だった市有地が整形化され、売却が可能
- ・地元要望への対応
- ・保留地の処分金を住区計画道路の整備資金に充当



受賞歴・報道資料

清田通が全面開通

札幌市道周辺の渋滞緩和期待

札幌市清田区の市道清田通の延長区間約470mが20日開通した。札幌国際大(清田4の1)に面した部分で、これまで南北に分かれていた通りが総延長約5・9キロの一つの道路としてつながった。周辺道路の渋滞緩和が期待される。延長区間は片側2車線で



2012年度から工事を進めていた。事業費は約26億円。

完成により、白石区の市道平和通との交点から、清田区の市道清田中央通との交点までが一本で結ばれた。清田通は国道36号や、市道羊ヶ丘通などと交わる交通量の多い道路だが、これまででは分断していたため、近隣の市道は迂回する車で渋滞が発生するなどしていた。

延長区間が午前11時に開通すると、さっそく多くの車が通行を始めた。沿道では、清田中央地区町内会連合会の会員約60人が旗を振って交通安全を呼び掛けた。(樋口雄大)

20日に開通した清田通の延長区間。開通後、多くの車が通行を始めた

清田通沿道で土地区画整理

16―17年度着手へ 市、未整備区間に合わせ実施

市は2013年度着手を目標として清田通未整備区間の整備にむけ、沿道での土地区画整理事業を計画している。着手は16―17年度予定。道路整備と土地区画整理事業の一体的実施が、市で初めての実施となる。

清田通は、白石区流道センターの平和通交点から清田区清田の清田中央通交点までの延長約500mが都市計画決定されている。しかし、札幌国際大の敷地内に当たる清田7号線交点から清田86号線交点にかけては未整備のため、建設局が13年度から道路新設に取り掛かっている。この区間は急傾斜地崩壊危険箇所指定されているが、同箇所は山林部を切り下り開削して道路を新設する。札幌国際大が位置する道路側では、擁壁設置

や緑化を推進。しかし東側一帯は削られた法面から不安定な形状となるため、道路を削りながら切り下げる。都市局は、の平面化したエリア、仮称「清田通沿道地区土地区画整理事業」として、宅地造成を進める。新設区間は延長約500m、幅員構成は車道12m(4車線)、歩道両側3・5m、路肩両側0・5mの計20m。総事業費は約1億1000万円を試算している。土地区画整理事業の対

して16―17年度に整備を完了する計画だ。施行認可は早ければ16年度中に着手する見通し。また、この事業は市が

平成24年11月15日 北海道建設新聞

令和元年12月21日 北海道新聞